

リバーサイドイルミネーション in かしわぎだいら 2023



柏木平地区自治会では、昨年から引き続き新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し以前のようにみんなで集えることを願って、築見橋をイルミネーションで装飾するおもてなしをしました。



鱒沢地区公民館

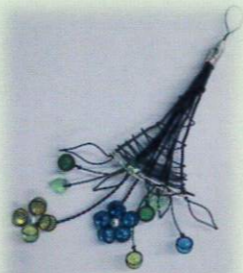
鱒沢児童クラブと連携し、お正月前に講師を招いて親子でしめ縄づくりを学びました。参加者の魂のこもったしめ縄を飾り新年を迎えることができました。

しめ縄づくり教室



生涯学習講座

マーブルアート教室



盛岡生まれのワイヤーとビー玉を使った新しいアートの手法を学びながら作品づくりに取り組みました。

【編集後記】

本紙では鱒沢地区住民の皆様と令和4年度みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金活用事業と鱒沢地区公民館事業としておこなった生涯学習講座を、紙面で実績報告いたしました。本紙をご覧になって、多くの方々が、地域活動や公民館事業に興味を持って参加していただけるきっかけになればと思います。皆様の参加をお待ちしております。 地域づくり支援員 白岩 邦子

訂正とお詫び

広報ますざわ第47号の「鱒沢地区センター整備に係る説明会開催される」の記事において、令和4年1月28日と記載しましたが、令和5年1月28日の間違いでした。訂正してお詫びします。

広報のバックナンバー(カラー版)は鱒沢地区センターのHPをご覧ください。

鱒沢地区センター

検索

ま 廣 報 ず ざ わ

第48号

令和5年4月6日発行

【発行元】鱒沢地域づくり会議
事務局(鱒沢地区センター)
TEL 69-1150 FAX 67-2157

【鱒沢の人口】

男性：422人(△2)

女性：453人(+2)

計：875人(±0)

※() 前月比 R5.2.28現在

【鱒沢地区まちづくり計画目標】

清水 流るる あつき里 私の鱒沢 みんなが主役 ここで生きる

あつき里鱒沢をめざして

鱒沢地域づくり会議

会長 小友 善衛

令和4年度は区長制度がなくなり行政区も改編されたことにより、区長さんが担ってきた行政区自治会への移管や新たな行政区自治会と集落自治会との役割分担をどうするかなど、鱒沢地域づくり会議の基礎となる自治会組織が大きく変化した年でした。

また、新型コロナウイルス感染による私たちの活動への影響も3年目となり、各自治会や団体が計画した事業も中止せざるを得ないものがありました。

このような中でも本紙で紹介したような各自治会や地区センターで様々な工夫をして実施することができた魅力的な事業も多くなりました。

今年度は、鱒沢地区まちづくり5年計画の最終年度であり、新しい鱒沢地区センターも完成予定です。また、次期5年計画を策定する節目の年にもなります。

高齢化や人口減少など地域を取りまく情勢は厳しいですが、鱒沢を愛しここで生活している私たちが、いきいきと生きていけるよう、皆が智慧を出し、ちよつとずつの汗を流してあつき里をつくっていくましよう。

令和4年度みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金活用事業と鱒沢地区公民館事業(生涯学習講座)を紹介します

花いっぱい運動事業



下鱒沢自治会、柏木平地区自治会、迷岡自治振興会では、道路沿いや、施設の周辺の花壇に子ども会、老人クラブ、地域住民が植栽しました。マリーゴールド、サルビア、ベゴニア等が花壇を華やかに彩りました。作業を通して地域活動と景観・環境に対する意識の高揚が図られました。

広報「ますざわ」第48号はみんなで築くふるさと遠野推進事業補助金を活用しています



令和4年度 鱒沢地域づくり会議 実績報告



鱒沢地区サロン対抗 スカットボール大会



集い・にぎわい事業として11月5日(土)に鱒沢地区サロン対抗スカットボール大会を開催しました。
鱒沢全6地区のサロンから計37名の選手が参加し、総当たりの団体戦と個人戦をおこないました。年齢に関係なく参加できるスカットボールで来年度も地域住民が集い、にぎわいを創出していきます。

名所・旧跡DVD完成・鱒小名所めぐり・標柱整備 ハナカジカのための環境整備

交流と継承事業「実はすごぞ！鱒沢ひすとリー」を映像化したDVDが完成しました。9月には鱒沢小学校全校児童とワーキングメンバーが名所めぐりを実施しました。10月にはハナカジカが生息している沢の環境整備をおこない、5月と11月には鱒沢地区内の名所4ヶ所へ標柱の設置を行いました。



卯子酉神社(迷岡)



完成したDVD



おなべが淵(旧2区)



陳ヶ森(旧3区)



黄金山発電所取水口跡(柏木平)

ハナカジカが生息している
除るハナカジカが倒木を取り除く作業の様子



鞍迫観音堂で説明の様子



地域資源・地元食材の発見



かご編み教室

農と食事業として、地域資源や地元食材の再発見、再活用を推進する体験講座等を開催しました。地区公民館の生涯学習講座と連携し、地域資源や地元食材を活用する講座として『白菜キムチづくり体験会』、『家庭でできるみそづくり教室』、『くるみの木の皮でつくるかご編み教室』を開催し計44人が参加しました。

白菜キムチづくり体験会

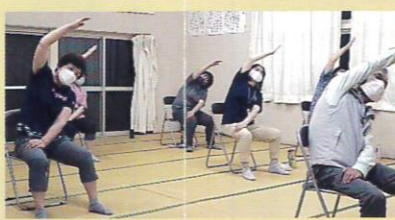


家庭でできるみそづくり教室



健康体操スポーツ振興事業

室内でできる筋力トレーニング、ストレッチ、チェアヨガの教室を開催し地域のみなさんの健康増進と交流の場を提供しました。週に一度集まるの体操教室により楽しくリフレッシュできました。



ハード事業 砥森神社鳥居建て替え事業



遠野遺産第125号の砥森神社の既存の鳥居2基が老朽化により倒壊のおそれがあることから、解体し新しく建て替えました。

ハード事業 農村婦人の家照明器具LED化工事業

今後世帯数の減少により自治会費収入の減少が見込まれることから照明器具を消費電力が少ないLEDに交換しました。

わくわく買い物ツアー

暮らしの安心事業は、地域で安心して暮らし続けることができるように地域として買い物支援を試行しています。
今年度は、お盆前とお正月前の2回買い物支援を企画し、お盆前は2名、お正月前は3名の利用がありました。買い物支援事業は来年度も継続していきます。



おせち配布事業 (地域支え合い支援事業)

12月25日(日)に親交婦人会では地区の80歳以上のみなさんが元気に過ごしているかも確認しながら、まごころづくしの手づくりおせちを配布しました。

